

# 中国山地・大山、三瓶山の秋の自然を訪ねて

2016.11.3~4

<参加メンバー> 10人（男性5人、女性5人）内、男性3人は11/4の三瓶山のみ参加

<アプローチ> 米子までは大阪、三宮から日交の夜行バス。米子～大山寺（ジャンボタクシー）、復路の大山寺～米子（大山るーぷバス）  
米子～大田市駅（JR）、大田市駅～三瓶温泉・元湯旅館（石見交通バス）、復路はジャンボタクシー利用  
11/4参加の男性3人はマイカー利用

<天候> 11/3の大山は快晴 11/4の三瓶山は曇り時々小雨（朝からガスの中を出発）

***** コースタイム他 *****	<山行の概要>
11/3 大山寺登山口6:25発、5合目7:30、木道（8合目辺り）8:45、弥山頂上9:05、本谷11:30	錦秋の山の自然を楽しもうと、中国山地の最高峰・大山と200名山にリストアップされている三瓶山の2峰を登ってきた。
11/4 三瓶荘前6:55、孫三瓶山7:59、小三瓶山8:39、男三瓶山10:00、女三瓶山11:00、大平山11:39、孫三瓶山12:14、三瓶荘13:00	大山は快晴で天気には恵まれたが、今年の紅葉は今ひとつであった。ブナなどの葉は紅葉の前に落葉している物が多く、カエデ類も紅葉の色はさえなかった。しかし、久しぶりの大山はやはりいい山であった。
	三瓶山はあいにくのガスの中での登山となり、初めてのメンバーには悪い印象しか残らなかったかもしれないが、天気の良い時にまた登ってほしいと思う。

## 11/3 大山の巻



1. 1合目から出発



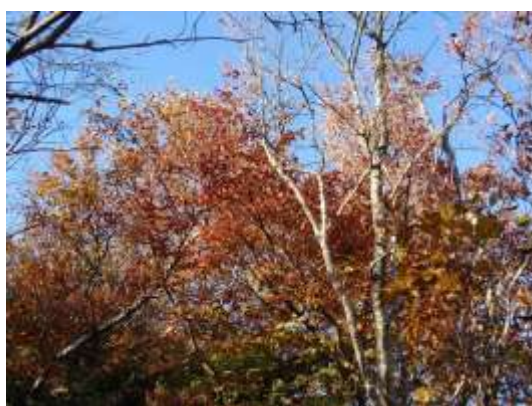
2. 可愛いナナカマドの実



3. 階段が続く



4. 半分登って来ました



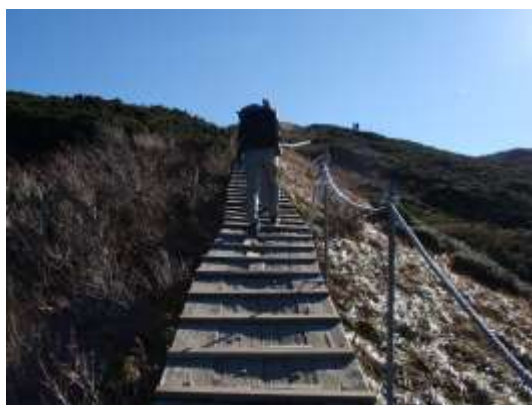
5. 青空にはえる紅葉



6. 麓の景色。その向こうには海



7. 相変わらず続く階段



8. 木道にでた



9. 大山頂上（弥山）に到着



10. 隣の剣ヶ峰。こちらの方が高い



11. 幻想的な中国山地



12. 頂上にある立派な避難小屋



13. 下山開始



14. 大山キャラボクの中を進む



15. 雲一つない快晴が続きました



16. 崩落の進む斜面



17. 見上げたブナの葉が綺麗でした



18. ブナの森を下って行く



19. 元谷に出ました



20. 変な根っ子



21. お疲れさま～。私達だけの貸し切りでした。(三瓶温泉、湯元旅館にて)



22. ご馳走がいっぱい！

## 11/4 三瓶山の巻



23. 三瓶温泉を出発



24. 今日はガスの中



25. 孫三瓶山



26. 花に癒されます



27. 草紅葉にも



28. 狂い咲きのツツジ



29. 景色の见えない中、花が楽しみでした



30. 子三瓶山



31. 晴れていれば気持ちよさそうな稜線



32. 男三瓶山



34. 岩場の急登



35. 登り下り、結構厳しかったです



36. 女三瓶山



37. 時々紅葉もありました



38. ツツジの一種らしい。これも狂い咲?



39. 最後のピーク、太平山



40. 孫三瓶山までもうすぐ



41. 孫三瓶山に戻って来ました。お疲れ様でした。